



長野県No.1 のもも・ネクタリン産地を守ろう！

◆生育状況と当面する重点作業について

高温干ばつの影響で小玉となり、成熟は昨年より7日程度遅れ、選びながらの収穫となっている。みつ症や日焼けの発生もあるが、着色に捉われず、果肉硬度や地色で判断し適期管理・収穫を行う。

1. 除袋後・収穫前防除と被害果除去により腐敗病・ミカンキイロアザミウマ防除対策を徹底する。

2. 長野県より東北信地域に「果樹シンクイムシ類の多発の恐れあり」と発表された。

モモシンクイガは、第1世代成虫の飛来は8月上旬がピークで、以降も連続して飛来し、幼虫の発生も連続するため、注意が必要。また、モモノゴマダラメイガの多発も懸念される。

上記1同様薬剤防除の散布ムラに注意すると共に、被害果は速やかに適切な処分も重要。

3. 各品種の適期収穫に努める。着色より熟度優先で収穫し、ロス果を減らす！

4. 乾燥し過ぎる前に、収穫間際でも軽い散水を行う。9月以降収穫する品種は、通常かん水を実施する。

5. 配布されている「葉面散布肥料・特殊資材の使い方」を参考に葉面散布肥料を有効に活用する。

総合的な品質向上対策として、ケルパック66、オルガミン等を利用する。

6. 果実が重くなり樹に負担がかかっている。枝倒れしないように支柱等を行う。

◆川中島白桃・黄金桃収穫講習会について

下記の日程により講習会を開催します。適期収穫・品質目揃いを統一する大切な講習ですので都合のよい会場で受講ください。

開催日	曜	開催時間	開催場所	担当
8月15日	金	午前10:30	松代総合センター	伊藤
		午前11:00	今井神社	松橋
		午後 2:00	JA川中島支所	松橋
		午後 3:30	御厨 斗女神社	松橋
8月17日	日	午前 9:30	若穂営農資材センター	寺澤
		午前10:30	東部流通センター(荷受場)	外谷
		午前11:00	西部流通センター	徳武
			若穂果実流通センター	寺澤
		午後 1:30	真島フルーツセンター※車は東奥へ	根津
		午後 2:00	塩崎共選所	徳武
		午前10:00	青木島支所	根津

なお、講習会以降が収穫始めではありません。適熟になったものは、講習会以前でも荷受致します。また、未熟な場合は、適熟になってからご出荷下さい。

◆収穫中品種の腐敗病防止対策について

果実腐敗病の被害果は、発見次第胞子が飛ばないように除去する。
被害果が樹上にあると降雨で被害が拡大するので、早急に除去し土中等に埋めて処理をする。

◆極晩生種の管理について

基本管理や薬剤防除は、前回情報までの内容をご確認下さい。

1. 除袋時期の目安（あくまで目安です。）

品 種	時 期
白根白桃	8月中下～下旬
さくら白桃	8月下～9月初旬

※目安の指標：着色が容易な品種ほど、除袋は遅め。困難な品種ほど早めとなる。

※生育がバラついている。また小玉傾向で地色の抜けが遅い。

※今後の気象条件・自園の状況・地色を確認しながら行う。

【もも薬剤防除】 ※もものみ。

◆西王母・黄ららのきわみ等㊟薬剤散布について

1. 散布時期：8月16日（土）～20日（水） 《実際散布日記入 月 日》

2. 調 合 量：水1000 当り ※混用順に記載。

※下記2剤は、収穫中・収穫直前のもも・ネクタリンでも、散布終了後24時間経過すれば収穫できる。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
展 着 剤	1 0 ml	—	—
ダコニール 1 0 0 0	1 0 0 ml	灰星病	前日
㊟ダイアジノン水和剤 34	1 0 0 g	シンクイムシ類・ハマキムシ類	前日

3. 散 布 量：10a当り⇒ 5000 以上

4. 留意事項

①今回の防除は、極晩生種の定期散布として実施する。

②ダコニール1000は、除袋直後に飛散すると薬害を発生する場合があるので、十分注意する。

③ダコニール1000に代えて、㊟カナメフロアブル 4,000 倍（水 1000 に 25ml・収穫前日まで）を使用してもよい。

④せん孔細菌病の葉への感染が多い園は、スターナ水和剤 1,000 倍（水 1000当り 100g・収穫7日前まで）を加用散布する。